



第43回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 小学校5年生の部



審査員講評

しぶやちさと
渋谷千里先生 (当番審査員)

塾や部活動などで忙しく、ピアノの練習時間を確保するのが難しくなってくる小学校高学年。出場された皆さんも時間に追われる日々を送っていると思いますが、それぞれしっかり準備を重ねて本番に臨まれていましたね。

中学年までと比べて難易度が上がり内容も濃くなった選択曲は、皆さんご自身の音色や特性に合った曲を選択されていたと思います。例えばメロディーの弾き方では、音をまっすぐ並べて弾いてしまった方と、豊かに演奏するためにメロディーだけでなく和声まで感じて立体的に表現している方との差が見られました。音楽に対して細部に渡り気配りをして、呼吸と共にフレーズを大切に表現して頂きたいと思います。

また作曲家の特徴を掴むために、選曲した曲以外の作品を聴く事も大きなヒントになる事でしょう。

本選に進出された方は更に研究した音作りができる様期待しています。



第43回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 小学校5年生の部

審査員講評

まつばら きみこ

松原寄美子先生 (当番審査員)



皆さん、良い準備をされレベルの高い演奏ばかりでした。ご家族の支えと熱心な指導を受けての演奏だったと思います。審査員一同感心しながらも楽しく聴かせていただきました。

課題曲について

選曲の内容	バッハ	インヴェンション、シンフォニア	40曲
		フランス組曲 メヌエット	20曲
	C.P.Eバッハ	マーチ	9曲
	W.Eバッハ	春	13曲

「春」は表情豊かな 完成度が高い演奏が多かったです。メヌエット、マーチは二声のバランス、調和をコントロールできた演奏が魅力的でした。インヴェンション、シンフォニアはとても良く練習されていました。

加えて15曲其々の調性、テーマの性格についてももう少し深く考え表現されるとさらに魅力がますますと思われます。

例えば 調性を変えて演奏してみる⇒ バッハがその調性を選んだ理由を考えてみる
曲名を考えてみる⇒ 具体的なイメージを持つ 等

又バロックスタイルの曲を演奏する時の注意点としまして、テーマだけが強調されてしまう、歌う気持ちが強くなりすぎ急激なクレシェンドの表現、テンポの揺れになってしまう 等があると思います。

演奏を大きな木にたとえてみますと、

拍子感は根→ 見えないが重要

和声感は太い幹→ 全てを支える

メロディーは枝、花→ 広がりと方向性 印象、とも考えられると思います。

音と音から生まれるハーモニーに感動しながら冷静に曲を表現できると説得力のある演奏に繋がると思います。

今回の結果は本当にわずかな差です。

これからの皆さんの成長を期待しています。又演奏を聴かせて下さい。

小学校5年生の部

並びは演奏順です

第43回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



庄司茉緒

山戸瑛介

藤川陽士

橋本煌生

丸尾さくら

海堀心莉

向野朱音



大石恵梨

似鳥華音

板橋彩愛

山川心愛

森拓音

西歩果

星日向汰

福島新純

田中彩葉

玉木悠翔

笹木みちる



清水陽奈

松尾紗奈

伊佐田莉奈

長沼果歩

今井彩瑛

岩井優音

前田衣咲

大坪舞桜

小学校5年生の部

並びは演奏順です

第43回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



近藤優音	浅妻新	山崎はる
木曾名南実	神田佑成	中村吏琥
中村栞那	鷺尾歩咲	伊藤紗世
野戸ひまり	齊藤可夢以	森奏太
中川和奏	石田梨織	荒井凜花
末田心希	東みさと	楠つむぎ



今野愛梨	臼井もな
桂川栞	藤嶋さくら
田中陽菜	森下愛来
丸山詩乃	小山紅葉
渡邊瑠愛	仁木葵
綿谷瑚裕	遊佐有衣吏
三鍋芭奈	杉本大尚
半谷日向花	石川稀子